

## ◎多摩森林科学園森林講座開講のおしらせ

(平成14年6月～平成15年1月開催)

多摩森林科学園では園内の「森の科学館」で、毎月1回「森林講座」を開講しています。これは、森林総合研究所の研究成果を、研究者が一般の方々に分かりやすくレクチャーし、森林や林業への興味をさらに深めていただくために行っているものです。

平成14年度の講座は、以下のとおりです。

どうぞお気軽に、多摩森林科学園までお問い合わせ・お申し込み下さい。

●受講料は無料ですが、入園料として大人¥300、子供¥50(小～高校生)が必要です。

■開催日(時間共通:13:15～15:00)

●講座タイトル・内容

◆講師

## ■6月21日(金)

●塩素を使わずに紙を白くする

ーダイオキシンの出ない紙の漂白ー

紙を白くする時にダイオキシンやトリハロメタンが発生する理由と、それを防ぐ取り組みを紹介します。

◆眞柄謙吾(成分利用研究領域木材化学研究室長)



## ■7月10日(水)

●小笠原の天然林をまもる

ー帰化生物のコントロールー

豊かな固有生物を持つ小笠原の森林は、人間とともに侵入した帰化生物により衰退の危機にあります。小笠原の本来の森林を回復させる取り組みを紹介します。

◆田中信行(植物生態研究領域チーム長)



## ■8月8日(木)

●京都議定書における森林の役割

ー森林を用いた地球温暖化防止策ー

京都議定書がどのような経緯で作成されたのか、議定書が国際社会で持つ意味などについて、森林を中心に紹介します。

◆天野正博(森林管理研究領域領域長)



## ■9月17日(火)

●松枯れを防ぐ

ー防除技術今、これからー

日本の松の枯れをどうやって防ぐかの研究の現状と、これからについてお話しします。

◆松浦邦昭(企画調整部上席研究官)



●申し込み方法

往復はがきに、ご希望の講座名、住所、氏名、年齢、職業、電話番号をお書きの上、下記宛先へお申し込み下さい。申し込みの受付は、講座日の2週間前までです。

●申込先・問い合わせ先

〒193-0843東京都八王子市廿里町1833-81

多摩森林科学園Tel. 0426-61-0200

●交通

JR中央線・京王線高尾駅北口から徒歩約10分

## ■10月16日(水)

●森林の劣化・減少と地球環境

ー熱帯林の行方ー

森林の減少・劣化の原因とそれによる温暖化と生物多様性の低下など、地球環境についてお話しします。

◆小林繁男(研究管理官)



## ■11月7日(木)

●木酢液の不思議

ーいま注目される「木酢液」の不思議な効能ー

木酢液とは何か、どのような効能があるのか?最近の研究例を中心に木酢液の不思議についてお話しします。

◆大平辰朗(樹木化学研究領域主任研究官)



## ■12月10日(火)

●里山の風景をつくる

ー多様な役割を持つ里山ー

里山の風景や生き物、文化や歴史、環境教育など、多様な役割を生かすための里山づくりについてお話しします。

◆香川隆英(企画調整部上席研究官)



## ■1月16日(木)

●木は乾かして使う

ー木造住宅の不具合を防ぐためにー

木造住宅を建てるときに乾いた木材を使用することの大切さと木の乾かし方についてお話しします。

◆黒田尚宏(加工技術研究領域木材乾燥研究室長)

